



#### ワークフロー

論理的なワークフローに従い水中音響データを解析するためEchoviewを使用します。

#### Explore :

エコーグラム、地図、グラフ、表や4D表示の各形式における音響データや補助データを視覚化したり、精査したりします。

#### Calibrate :

音響生データをその空間、時間に正しく位置された完全な後方散乱強度に変換します。

#### Clean :

バックグラウンドノイズ、干渉ノイズ、失われたデータや他の望まない構成要素を特定したり、軽減したりします。

#### Detect :

海底を定義したり、個々のターゲット、魚群や他の集団を探索したり、数ピングに及ぶターゲットの動きを追跡したり、必要に応じてデータを分割します。

**Classify :** 完全かつ確率的な単一周波や複数周波のエコートレース分類を行います。

#### Characterize :

幅広いデータを特徴化し、最適なサードパーティソフトウェアで更なる解析が可能なように解析を行いエクスポートします。

#### Automate :

他のデータセットに適用させるためデータフローを保存し、希望するプログラム言語でスクリプト(エコービューの取扱説明書による)を書きます。